

教育委員会議事録

(公開部分)

令和7年3月定例会

海老名市教育委員会

教育委員会議事録
(令和7年3月定例会)

- | | | | | | |
|---|------|--|--|---|---|
| 1 | 日付 | 令和7年3月7日(金) | | | |
| 2 | 場所 | えびなこどもセンター 2階 201会議室 | | | |
| 3 | 出席委員 | 教育長
教育委員
教育委員 | 伊藤 文康
武井 哲也
藤吉 ひとみ | 教育委員
教育委員 | 濱田 望
海野 望 |
| 4 | 出席職員 | 教育部長

教育部次長

教育部参事兼教育総務課長

教育部参事兼就学支援課長兼指導主事

学び支援課長

教育総務課施設係長

就学支援課就学支援係長

学び支援課主幹兼学び支援係長 | 江下 裕隆
吉川 浩
西海 幸弘
山田 圭
松本 晃子
瀬戸 圭一
菅野 英輝
中島 裕子 | 教育部教育支援担当部長兼教育支援担当次長事務取扱兼教育支援課長事務取扱

教育総務課文化財担当課長兼文化財係長事務取扱兼郷土資料館長兼歴史資料収蔵館長

教育部参事兼教育支援課教育支援担当課長兼支援係長事務取扱兼教育支援センター所長兼指導主事

教育支援課主幹兼指導係長 | 麻生 仁

押方 みはる

小園 洋

土屋 葉子 |
| 5 | 書記 | 教育総務課総務係長 | 小林 亮介 | 教育総務課主査 | 片山 考人 |
| 6 | 傍聴人 | 2名 | | | |
| 7 | 開会時刻 | 午後3時30分 | | | |

8 付議事件

(1) 教育長報告

(2) 報告事項

- | | | |
|-------|---------|---|
| 日程第 1 | 報告第 3 号 | 令和6年度海老名市一般会計補正予算（第9号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について |
| 日程第 2 | 報告第 4 号 | 令和7年度海老名市一般会計当初予算のうち教育に関する部分に係る意見の申出について |
| 日程第 3 | 報告第 5 号 | 工事請負契約の締結に関する意見の申出について（海老名市立有馬中学校校舎外装改修工事） |

(3) 審議事項

- | | | |
|-------|---------|---------------------------|
| 日程第 4 | 議案第 5 号 | 海老名市学校施設再整備計画に係る今後の方針について |
|-------|---------|---------------------------|

(4) 審議事項（非公開案件）

- | | | |
|-------|---------|-----------------------------|
| 日程第 5 | 議案第 6 号 | 県費負担教職員の人事異動について |
| 日程第 6 | 議案第 7 号 | 海老名市教育委員会非常勤特別職（学校医）の委嘱について |

9 閉会時刻 午後5時3分

○伊藤教育長 本日の出席委員は全員でございます。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。これより教育委員会3月定例会を開会いたします。

本日は、傍聴希望者がございます。傍聴者につきましては、教育委員会会議規則第19条に規定されておりますので、傍聴を許可したいと思いますのですが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、傍聴を許可します。傍聴人を入室させてください。

本定例会の議事録署名委員は、濱田委員、藤吉委員にそれぞれよろしくお願いいたします。

それでは、教育長報告に入ります。

初めに、主な事業報告です。

2月7日(金)は、教育委員会2月定例会がございました。教育課題研究会、初任者授業参観で今泉小学校に行きました。

8日(土)は、フリースクール開所式に参加しました。

10日(月)は、総合的な学習の時間発表会が杉久保小学校でありまして、東名高速道路のサービスエリアのところに新しくできる公園のことを子どもたちが調べまして、発表しました。子どもたちがどんな公園にしたいかということで、それぞれ発表しました。保育園園長面会がありました。県教職員人材確保・育成推進協議会がオンラインで行われました。

12日(水)は、最高経営会議、自治体DX戦略本部会議、消防署南分署内覧会ということで、社家小学校の隣、北側に南分署が新たに建てられましたので、それを内覧したところでございます。社家小学校側には子どもたちがある程度、学習できるようなスペースが設けてあるということでございます。海老名市児童絵画コンクール実行委員会がありました。何回かあるのですけれども、人事異動に係る校長面談がありました。

13日(木)は、2月教頭会議がございました。東海大学との連携に係る面談がありました。東海大学の先生が来て、東海大学は3年前から児童教育学科という教育学科のようなものをつくって、来年に卒業する学生から小学校の教員免許が取れるようになったので、学生のうちから海老名市の学校で研修するというような連携を行ってきたところでございます。神奈川県とのフルインクルーシブ教育に係る打合せがありました。人事異動に係る校長面談がありました。

14日（金）は、えびなっこしあわせプラン推進委員会が行われました。臨時校長会議ということで、教職員の人事異動の内示を校長に示しました。地域連携・小中一貫教育担当者会がありました。青少年健全育成連絡協議会がありました。また人事異動に係る校長面談を行いました。

15日（土）は、皆さんにも参加していただき、小田急電鉄海老名本社で総合教育会議を行いました。

16日（日）は子育て支援チーム会議ということで、要するに教育相談で、海老名市内で上がってくる事例についてチームで話し合いが行われたところでございます。小学校4年生の神奈川フィルハーモニー管弦楽団鑑賞会ということで、午前午後に分けて全小中学校の4年生を呼んですごくよかったというか、子どもたちも教室で授業をしているよりも、文化会館で演奏を聴けて楽しそうでした。子どもたちもリコーダーで演奏して、それに合わせて、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の伴奏で歌を歌って、すごくいい機会になったと思います。ひびきあう教育実践研究発表会を今泉中学校で行いました。

18日（火）は、1年間の初任者研修終了時研修会でした。

19日（水）の現職教員運営協議会は、来年度の教職員研修に係ることを校長先生の代理の方に集まってもらって話し合いをしているところでございます。えびなメディカルガーデンからの図書寄贈と毎年の平塚信用金庫からの図書寄贈がありました。県央教育事務所管内教育長会議がございました。

20日（木）は、主任児童委員部会に出席しました。学校・市教育委員会事務調整会議がありました。

21日（金）は、市長定例記者会見、学童保育クラブ令和7年度補助金説明会を行いました。校長会とのオンラインミーティング試行ということで、何かあったら、校長会、教頭会をオンラインでやれるよう試行を行ったところでございます。オンラインの場に入るのにかなり時間がかかりました。架け橋プログラム推進委員会は、幼稚園、保育園、小学校とのつながりについて話し合いを進めたところでございます。CO・SC・SSW連絡会があったところでございます。

22日（土）は、PTA活動研究集会でございます。

25日（火）は、令和7年市議会第1回定例会が開会したところでございます。県とのフルインクルーシブ教育に係る打合せがございました。

26日（水）は、校長連絡会、市議会代表質疑部内ヒアリングと校務支援システム選定

委員会ということで、学校のDXということで、先生方の使う校務支援システムを令和8年度から新しくするので、そのための校務システム選定委員会が始まったところでございます。

27日（木）は、代表質疑市長ヒアリングがありました。フルインクルーシブ教育児童との対話の場ということで、中新田小学校で子どもたちとの対話の場を行ったところでございます。神奈川新聞記者との面会がありました。

28日（金）は、社会教育委員会議がございました。環境教育授業参観で東柏ヶ谷小学校に行ってきました。みんなで取り組む学校づくり推進委員会がございました。

3月に入りまして、3月1日（土）は中央農業高校卒業式に参加して、その後、海老名市PTA連絡協議会単位PTA会長会がありました。

3日（月）は、市議会第1回定例会本会議の代表質疑がありまして、その後、一般質問振り分け・部内調整ということで、一般質問については教育委員会が一番多いという状況でございます。臨時最高経営会議があつて、そこで市の職員の人事異動の内々示。先ほど皆さんにご紹介させていただいたところでございます。雪に関する情報連絡会ということで、要するに雪の心配があるところで、雨が雪にならなくて、何もなかったということでございます。学校ICT活用推進委員会がございました。

4日（火）は、朝のあいさつ運動で海老名小学校、海老名中学校に行きました。海老名小学校と海老名中学校は最近、小学校と中学校が一緒になって、その日も小学校6年生が中学校の生徒会と一緒に朝のあいさつ運動、すごい人数で、本当に大盛り上がりのあいさつ運動でございました。学校用務員会議がありました。市議会議員中学校給食視察ということで、柏ヶ谷中学校に市議会議員の方が何人も見えました。皆さん、いろいろ心配して、これまで一般質問で質問された人も、きちんとこれでやれていることが分かったように聞いています。海外とのオンライン学習視察が有馬中学校でありましたが、私は行けませんでした。一般質問部内ヒアリングがありました。

5日（水）は、3月校長会議、一般質問市長ヒアリングがありました。ひめしゃらの会というのは、校長先生が退職するというか、役職定年の方々に、昔は1泊で卒業旅行みたいに行っていたのですが、今はそういうことができないので、ひめしゃらの会ということでささやかに行いました。

6日（木）、昨日ですけれども、市道上郷河原口線開通式に行つてまいりました。濱田委員がご努力なされた道ですけれども、無事開通しました。中学3年生へのスマホスタン

ド寄贈式が柏ヶ谷中学校でありました。MOTTERUという海老名市内の会社が中学3年生に昨年度からスマホスタンドを寄贈してくれています。この後、柏ヶ谷中学校で、海野委員が楽しみにしていた、卒業の歌を3年生全員が披露して、市長もMOTTERUの会社の人もすごく満足して帰りました。

7日（金）、今日ですけれども、教育委員会3月定例会、教育課題研究会、子育て支援チーム会議がありました。その後、人事交流教職員面接がこの会議が終わった後にございます。

主な事業報告は以上でございますけれども、何か皆さんからありましたら……。

○武井委員 2月19日のえびなメディカルガーデンと平塚信用金庫の図書寄贈なのですが、規模的にはどのぐらいの寄贈なのですか。

○伊藤教育長 メディカルガーデンは、いろいろなお仕事のシリーズの介護に関わるような本、漫画なのです。だから、キャリア教育の漫画本のシリーズがたくさんあって、介護の部分の本を寄贈していただきました。

○武井委員 小学校と図書館に。

○伊藤教育長 小学校と図書館に入っています。平塚信用金庫は毎年、多分10年ぐらい……。でも、どの本を買うかはこちらで決めて良いのです。図書館のほうにひらしん文庫ということで、きちんとコーナーをつくって、それは何年も続いているので、かなりの大きさになって……。でも、ふだんは買えないようなすごく大きい絵本が買えたりするので、助かっていると言うと言葉は変ですけれども、平塚信用金庫がそういうところをやっていたいています。

ほかにはいかがでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○伊藤教育長 それでは、続いて、私のほうからは「卒業式」ということで、この後、皆さん小学校、中学校の卒業式に行かれますので、そのことを書いたのですが、私は実は3月、4月はすごく嫌で、特に3月31日の退職辞令は本当に嫌で……。学校に勤めているときに何が嫌だったかというと、卒業式が嫌だったのです。その頃、若い先生は高学年を担当することが多かったのですが、私も19年ぐらい一応教員だったので、7回、卒業式をやっているのです。だから、頻度で言うと5、6年で持ちますので、かなり頻度でやりますけれども、子どもたちは本当に、藤吉委員は記憶にあると思うのですけれども、最後の学習発表会みたいなものですから、小学校のときは練習して、そこに

臨むのですよ。だから、子どもたちは、みんなかなり緊張した状態で……。

担任の先生は何が緊張するか、呼名と言って、1人1人の名前を呼ばなければいけないのですよ。間違えるわけにいかないから、それは結構緊張してやるのですけれども、それとて、だんだん式が進んでいくと呼びかけがあって、途中卒業の歌があったりするのですけれども、子どももだんだん緊張感がなくなってきた、緩んできて、泣き出すのですよ。歌の頃は結構な子どもたちが泣いているのですよ。

私、某校長先生に、卒業式が終わった後、呼ばれたのですよ。伊藤さんの学級経営はいまいちだ、何が駄目だといったら、卒業式は門出なのだから、子どもが泣くような卒業式にしては駄目だと言うのですよ。何を思っているのか、分からないですけれども、それで結構言われて、確かに門出だから、子どもたちが次に向かうという意欲を持って、笑顔で卒業するというのも1つなのだろうけれども、私も納得はしていなかったのだけれども、どうもありがとうございましたと言って済ませました。説教を受ける必要なんてあるのか、どうなのかなとは思ったのです。

ただ、教員の立場で言うと、卒業式は何が嫌だというと、自分のクラスにいた子どもたちがもういなくなってしまうのですよ。教室は全部空っぽで、卒業式の前に全部荷物は持って行ってしまうものですから、ああ、本当にいなくなってしまったなど。そういう感じがすごく嫌だなど思っていたのです。

もう1つは、昨日も柏ヶ谷中学校で卒業の歌を聞いて、ちょっとうるうるしてしまったのですけれども、子どもたちは5000円払っても聴けないような歌をその場でやってくれるのですよ。呼びかけとか。皆さんも年を取ってきたから、それを聞いていて、うるうるしてしまうと思うのですけれども、そういうものを教育委員さん方には味わっていただいて、笑顔はなくていいですから、そういう卒業する時間を味わってきてくださいねということで、3年間のドラマに思いを巡らせて、プライスレスな感動を楽しんでいただきたいということを書いてあります。

あとは、2月号の教育長だよりをつけてありますが、今日は時間に限りがありますので。

○伊藤教育長 それでは、報告事項に入ります。

日程第1、報告第3号、令和6年度海老名市一般会計補正予算（第9号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出についてを議題といたします。

説明をお願いします。

○**教育部長** それでは、資料1ページをご覧ください。報告第1号、令和6年度海老名市一般会計補正予算（第9号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出についてご説明申し上げます。

報告理由につきましては、令和6年度海老名市一般会計補正予算（第9号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出を行ったためでございます。

資料2ページをご覧ください。1、概要でございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、海老名市長から意見を求められたため、異論なしとして申出を行ったものでございます。

2、教育長の臨時代理でございます。こちらは、令和7年第1回海老名市議会定例会に上程する補正予算案について、本年2月12日付けで市長から意見を求められましたが、その対応に急施を要したことから、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定に基づき、教育長が臨時に代理し、申出を行ったものでございます。

3、意見を求められた議会の議決を経るべき案件でございます。こちらは、令和6年度海老名市一般会計補正予算（第9号）のうち教育に関する部分でございます。

4、海老名市長からの文書につきましては3ページに添付してございますので、後ほどご高覧いただければと思います。

5、教育委員会からの申出文書につきましては同じように4ページのとおりでございます。

6、根拠法令（抜粋）につきましては資料2ページのとおりでございます。こちらも後ほどご高覧いただければと思います。

続きまして、資料5ページをご覧ください。令和6年度海老名市一般会計補正予算（第9号）【教育委員会所管部分】の資料となっております。1、歳入歳出予算補正の（1）歳入でございます。14款国庫支出金、2項国庫補助金、6目教育費国庫補助金、3節中学校費補助金の中の細節19、中学校施設改修事業費でございます。所管課は教育総務課でございます。補正前額1億4044万8000円、補正額は3362万9000円の増額で、補正後額は1億7407万7000円でございます。説明欄をご覧ください。本件は、国の令和6年度補正予算に伴い補助金を活用し、翌年度以降の事業を前倒しして実施したいものでございます。以上が歳入のご説明でございます。

続きまして、資料 6 ページをご覧ください。(2) 歳出でございます。10 款教育費、1 項教育総務費、3 目学校給食費、細目 4 食の創造館関係経費の中の細々目 2、食の創造館維持管理経費でございます。所管課は就学支援課でございます。補正前額は 7 億 774 万 8000 円、補正額は 2108 万 4000 円の減額で、補正後額は 6 億 8666 万 4000 円でございます。説明欄をご覧ください。本件は、食の創造館及び同別館の光熱費について、今後の使用見込みを精査したところ残額が見込まれるため、減額補正を行うものでございます。

続きまして、同じく 3 項中学校費、1 目学校管理費、細目 2 中学校管理経費の中の細々目 3、中学校施設整備事業費でございます。所管課は教育総務課でございます。補正前額は 8 億 612 万 7000 円、補正額は 2 億 1075 万円の増額で、補正後額は 10 億 1687 万 7000 円でございます。説明欄をご覧ください。こちらは、歳入でご説明いたしました国の補正予算に伴う補助金を活用し、翌年度以降に予定しておりました海西中学校の体育館の大規模改修工事を前倒しして実施したいものでございます。

続きまして、同じく 4 項社会教育費、3 目図書館費、細目 2 図書館維持管理経費の中の細々目 4、図書館維持管理経費でございます。所管課は学び支援課でございます。補正前額は 4 億 3656 万 4000 円、補正額は 281 万 3000 円の増額で、補正後額は 4 億 3937 万 7000 円でございます。説明欄をご覧ください。こちらは、図書館の指定管理料について、光熱費の高騰に伴い増額を図りたいものでございます。以上が歳出のご説明でございます。

続きまして、資料 7 ページをご覧ください。2、繰越明許費補正（追加）でございます。10 款教育費、3 項中学校費でございます。所管課は教育総務課でございます。海西中学校屋内運動場大規模改修工事につきまして、国庫補助の活用に伴い前倒しで補正予算計上したところですが、年度内に事業の完了が見込めないことから、繰越明許費の設定を行いたいものでございます。

続きまして、3、地方債補正（変更）でございます。所管課は教育総務課でございます。中学校整備事業につきまして補正予算計上したところですが、これに地方債を活用したいため変更するものでございます。

大変雑駁ではございますが、説明は以上でございます。

○伊藤教育長 それでは、ただいまの説明について、ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

○濱田委員 中学校施設整備事業で海西中学校の体育館の大規模改修をやっていただきすけれども、歳入で入って来る国庫補助金の補助率はどのぐらいになっているのか、教え

てください。

○教育総務課長 補助率でございます。体育館の工事の中の空調に係る補助金の割合が2分の1、その際に気密性を高めるための、建具だとか外側を改修する部分が7分の2という補助率になってございます。

○伊藤教育長 空調機器の分とその他の部分で補助率が異なるということでございます。ほかにはいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、ご質問等もないようですので、報告第3号を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第1、報告第3号は承認することに決しました。

○伊藤教育長 続いて、日程第2、報告第4号、令和7年度海老名市一般会計当初予算のうち教育に関する部分に係る意見の申出についてを議題といたします。

説明をお願いします。

○教育部長 それでは、資料8ページをご覧ください。報告第4号、令和7年度海老名市一般会計当初予算のうち教育に関する部分に係る意見の申出についてご説明申し上げます。

報告理由につきましては、令和7年度海老名市一般会計当初予算のうち教育に関する部分に係る意見の申出を行ったためでございます。

資料9ページをご覧ください。1、概要でございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、海老名市長から意見を求められたため、異論なしとして申出を行ったものでございます。

2、教育長の臨時代理でございます。こちらは、令和7年第1回海老名市議会定例会に上程する当初予算案につきまして、本年2月12日付けで市長から意見を求められましたが、その対応に急施を要したことから、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定に基づき、教育長が臨時に代理し、申出を行ったものでございます。

3、意見を求められた議会の議決を経るべき案件でございます。こちらは、令和7年度

海老名市一般会計当初予算のうち教育に関する部分でございます。

4、海老名市長からの文書につきましては10ページに添付してございますので、後ほどご覧いただければと思います。

また、5、教育委員会からの申出文書につきましては11ページのとおりとなっております。

6、根拠法令（抜粋）につきましては資料9ページのとおりでございます。後ほどご覧いただければと思います。

続きまして、別冊資料でご用意させていただきました令和7年度教育部予算説明資料をご覧いただければと思います。

表紙の教育部の基本的な考え方でございます。それぞれ課ごとの内容をご説明させていただきます。

まず、教育総務課です。教育総務課においては、教育委員会会議や総合教育会議の円滑な運営を図り、教育に関する情報を発信することで、教育行政に対する市民理解の向上を図ります。また、児童生徒の学習環境の整備や安全確保を図るため、学校施設再整備計画に基づき、学校施設の改修及び維持管理（補修等）を行います。また、安全・安心な学習環境を整備するとともに、避難所施設としての機能強化を図るため、小中学校の屋内運動場への空調機の設置を進めます。そのほかにも、海老名の歴史と文化を後世に伝えるため、文化財の調査、保存等を行うとともに、文化財の公開や利活用を図り、普及啓発を推進いたします。

続きまして、就学支援課です。就学支援課においては、県費負担教職員の人事に関すること、児童生徒の就学に関すること、児童生徒の安全や健康に関すること、学校給食に関することを行っております。令和6年4月から中学校給食を再開し、全ての小中学校に温かい完全給食を提供することで、食の保障を行っております。「海老名の子どもたち、ひとりひとりの『おいしい笑顔』のために」を基本理念として、安心して安全な学校給食の提供に努めます。

続きまして、教育支援課です。教育支援課においては、海老名市の教育理念「ひびきあう教育」を推進するため、「えびなっ子しあわせプラン」を継続し、実践的教育活動に取り組んでいきます。また、児童生徒の英語力を強化するとともに、ICT環境を充実し1人1台端末を活用した情報活用授業の実践を行います。児童生徒の保護者への負担軽減を図るため、引き続き野外教育活動や修学旅行への参加費用を援助します。教育支援センター

においては、心理及び福祉の専門知識等を有した相談員等による相談対応や、学校等関係機関との連携等による課題解決に向けた支援を行うとともに、不登校児童生徒に対し専任教員等による集団への適応指導等を行い、学校復帰や将来的な自立を支援します。さらに補助指導員や介助員等を学校に派遣し、1人1人のニーズに寄り添った教育活動を支援します。

続きまして、学び支援課です。学び支援課においては、令和2年度に策定した社会教育計画が最終年度となるため、次期社会教育計画の策定に向けた検討を行います。また、青少年の健全育成のための活動支援を継続します。学童保育支援事業については、運営及び当該事業所で働く支援員への補助を継続して実施するほか、耐震改修工事費補助金などを新たに実施します。学童利用者のうち、スクールライフサポートの認定を受けている保護者を対象とした保育料補助については、月額補助の上限の引き上げを行います。図書館については、引き続き、指定管理者とともに市民ニーズに沿った運営を推進します。また、市民講座「まなBINA」を開催するほか、二十歳を対象とした「二十歳の祝典」については、実行委員の主体的な企画、運営による開催を継続します。

2ページをご覧ください。教育部の主要な施策でございます。新規事業といたしましては、インクルーシブ教育推進事業費ほか4件で、継続事業といたしましては、学校給食調理経費ほか2件でございます。

3、事務事業の見直し・創意工夫等でございます。就学支援課におきまして、教材費の無償化について、保護者や学校関係者等の意見を踏まえ、教材費支援の内容を見直し拡充いたします。

また、教育支援課におきまして、充実した教育環境の確保に向け、教職員へのICT面でのサポートの強化として、情報教育支援員の派遣日数を増やし、また、全小学校に統一した学習支援ソフトを導入して、ICT教育のさらなる推進を図るものでございます。

4、SDGsへの取組み及び5、DX（デジタルトランスフォーメーション）への取組みにつきましては記載のとおりとなっております。

また、4ページに、継続費、債務負担行為の一覧を添付してございます。

なお、5ページの地方債につきましては該当がございません。

6ページ以降に、予算科目ごとの主な歳入・歳出予算額の推移をつけておりますので、後ほどご高覧いただきますようお願いいたします。

以上が令和7年度当初予算のうち教育委員会が所管する部分の概要でございます。

大変雑駁ではございますが、説明は以上となります。

○伊藤教育長 令和7年度予算ということで、今、第1回市議会定例会で議員が審議を進めているところでございますけれども、このような形で教育部としては予算の承認を得るため、審査を行っていただいているところでございます。その意味で、全体にわたり、教育委員会のほうは異論なしということで私のほうでは答えてはいるのですが、皆さんから予算説明資料を見てご質問等ありましたらお願いいたします。

○武井委員 新規事業の一番初めにある教室等一般開放事業費なのですけれども、詳しい内容が分かればご説明をお願いしたいと思います。

○教育総務課長 教室等一般開放事業でございますが、一般の団体に体育館の開放を行ってございます。体育館開放をする際は、体育館の鍵を、市役所の守衛室とか鍵管理者のところに取りに行き行って利用するのがこれまでの流れだったのですけれども、今回、この事業の中でスマートキーボックスを現地の体育館に据えつけてまして、そのボックスの中に体育館を開けるための鍵を収めておいて、利用者には利用する当日、携帯などに暗証番号などを送信することによって、わざわざ市役所の守衛室まで来ることなく、現地で鍵を手でできて、返却もボックスの中に返却してもらうような仕組みを考えたのがこちらの一般開放事業費の新規の部分でございます。

○武井委員 一番のメインは体育館開放の利便性確保という感じ、ニュアンスで捉えればいいですか。

○教育総務課長 利便性を向上させるところがやはりメインになろうかと思えます。

○伊藤教育長 下のDXのほうの説明欄にもあるのですよ。体育館の鍵は入っているボックスがついていて、今までだったら守衛室まで1回取りに行かなければいけなかったのですが、鍵を取りに行き行って、また体育館に戻るということになっていました。これが、登録すると暗証番号が送られてきますので、これをやると鍵が取り出せるというので、利用者にとっては本当に便利な形にはなるかなと思えます。

○藤吉委員 4番のSDGsへの取組みの中の学校給食（フードロス）ということで、全ての小・中学生に対し、学校給食を通じてフードロス削減の意識・行動との醸成を図りますということで、具体的に何かこういう感じというお話があればお聞かせください。

○就学支援課長 まず、教育長のほうでPR動画を作って、子どもたちに見ていただきました。あと一口食べようねと呼びかけることで、少しずつでも取り組んでいけたらなと思っています。そのほかに、うちの学校給食担当を学校に派遣して、総合の学習の一環でこ

ういうフードロスに取り組んでいるのだよ、どういことをすればフードロスにつながるのだよということを周知したり、そういうことを取り組んでいます。

○伊藤教育長 学習活動、総合的な学習の時間で、あれは大谷小学校だと思っただけれども、そういうことに取り組みました。

○濱田委員 大変細かい作業の積み上げ、お疲れさまでした。予算、ありがとうございます。

すごく細かいことについて聞きたいのですけれども、予算書26ページ、要保護児童就学援助費が、小学校費は認定者数の増ということで13万6000円増額になっています。29ページの下から2段目の中学校の場合は認定者の減少により減額となっていますけれども、認定対象者の就学の仕方によってははっきりと差がついてしまってよろしいのでしょうかという確認なのですけれども。

○就学支援係長 ご説明いたします。要保護児童の修学旅行の活動事業費につきましては、毎年、その年に対象となる児童数を事前に調査して出しておりますので、その時々によって対象となる児童がいる年には多くなり、少ないときには減額になるような形で毎年やらせていただいております。

○濱田委員 そういう意味ですか。今までこういうのはありましたか。

○就学支援係長 生活保護を受けている家庭、家庭環境は様々でございますし、兄弟が多い家庭、少ない家庭とか、いろいろでございます。その時々によって、たまたま同じ学年の重なるときもあれば、あまりいないときもありますので、それによって変わってくるころになります。

○伊藤教育長 これは要保護だから、スクールライフサポートとはまた別に、修学旅行なんかの補助はスクールライフサポートから出すのだよね。だから、生活保護の方々の対象のお子さんの分はどこかで出すということです。

○濱田委員 市でがっちり把握している……。

○伊藤教育長 足りなくなったら補正を出すしかないのです。

○濱田委員 景気、物価高騰の中で非常に必要になってくる……。

○伊藤教育長 それを予測して、うちのほうも予算額を多くして、要するに執行率が下がると、ほかの使える予算に影響があるので、精査して出したものでございます。

○海野委員 3番の教育支援課の充実した教育環境の確保で、全小学校に統一した学習支援ソフトを導入してとありますが、どういった感じで考えているのでしょうか。

○**教育支援担当部長** 7年度に導入予定のソフト、商品名はスクールタクトというものなのですけれども、授業中の子どもたちの学習状況を担任の先生がリアルタイム、オンタイムに把握して、それをホワイトボードに投影して、みんなで共有したり、データで残して先生方の評価資料にしたりということで、今年度は2校、今泉小学校と杉本小学校で試行実施していたのですけれども、そこも含めて幾つかのソフトを各校にお試しで使っていて、各校のICT担当の先生方にいろいろ選定していただいて、これが一番使いやすいのではないかとということで、かなり時間をかけて選定したものを7年度から全小学校に導入して活用していきたいものです。導入した後も活用の方法を共有したりして、よりよい使い方ができるように研究していきたいと思っています。

○**伊藤教育長** 市内小学校は今までばらばらだったのですよ、使っているソフトが。ですので、教員たちは異動しますので、ほかの学校に行ったらこれを覚えるとかとなって、これを統一することでICTの活用推進委員会の担当の協議会みんなで話し合っ、では、どれにしようということで各学校に意見を聴いて、スクールタクトというものを来年度から市内小学校では統一して、このソフトで授業を進めるぞということでやっております。

○**武井委員** 23ページが一番下なのですけれども、別室登校支援事業費で「心の教室相談員」を派遣しているのですけれども、勤務時間を4時間から6時間に変更したことで300万円近く増えたのですけれども、それは、契約して来てくださっている方の人数が多いのか、人材が増えるのか、その説明をお願いします。

○**教育支援担当課長** 別室登校支援事業で、中学校に心の教室というものを設置しております、そちらの相談員の方々のことでございます。勤務時間が今、令和6年度は、全校6校で4時間勤務をお願いしていたのですけれども、子どもたちが午後まで心の教室を利用するということで6時間に変更したということで、2時間分の増に係る予算増という形で計上しております。

○**武井委員** そういう方の人数はかなり多い。

○**教育支援担当課長** 相談員は23名を6校に派遣しております。

○**武井委員** 分かりました。

○**伊藤教育長** 小学校にも実は同じようなものがあって、それも含めているのです。だから、4時間だと午前中で終わってしまうので。それと、支援員は、午後は意外と、学校は学校のほうで空いている先生で今までも対応はしてきたのですけれども、中には、そういう先生がいないのならもう帰りますという子どもたちも出てくるような状況があったの

で、例えば授業時間の6時間分は次年度は保障しましょうということで、来年度からフルインクルーシブ教育もありますので、6時間つけよう。

○海野委員 29ページの部活動充実事業費ですが、増減理由に部活動指導員配置人数の増加による増額とありますが、人数が増加することによって、部活動の顧問が活動的に少し助かるような仕組みにはなっているのでしょうか。

○教育支援担当部長 予算計上の段階では、人数的には5名ほど増の形で計上していますが、実際、部活動指導員にはいろいろな方をお願いしていて、例えば今年度、校長先生方の提案もあって導入したやり方で、水泳とか、柔道とか、新体操とか、学校に設置されていない部活動の大会派遣に係る引率を関係の保護者の方等をお願いするときに、登録としては部活動指導員が一日引率、顧問の代わりに責任を持ってお願いするような形で導入し、それにより学校側、先生方の負担はかなり減ってきていると思っております。さらに研究していきたいと思っています。

○伊藤教育長 ほかにいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 これだけ厚いものを予算説明資料として、また、今回は今回で報告という形で皆さんのほうにこの後承認してもらいますけれども、また何かありましたら、その都度ご質問いただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。

それでは、日程第2、報告第4号を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第2、報告第4号を承認することに決しました。

.....
○伊藤教育長 続いて、日程第3、報告第5号、工事請負契約の締結に関する意見の申出について（海老名市立有馬中学校校舎外装改修工事）を議題といたします。

説明をお願いします。

○教育部長 それでは、資料12ページをご覧ください。報告第5号、工事請負契約の締結に関する意見の申出について（海老名市立有馬中学校校舎外装改修工事）でございます。

報告理由につきましては、工事請負契約の締結に関し、意見の申出を行ったためでございます。

資料13ページをご覧ください。1、概要でございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、海老名市長から意見を求められたため、異論なしとして申出を行ったものでございます。

2、教育長の臨時代理でございます。こちらは、令和7年第1回海老名市議会定例会に上程する契約の締結について、本年2月12日付けで市長から意見を求められましたが、その対応に急施を要したことから、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定に基づき、教育長が臨時に代理し、申出を行ったものでございます。

3、意見を求められた議会の議決を経るべき案件でございます。こちらは、工事請負契約の締結について（海老名市立有馬中学校校舎外装改修工事）でございます。

4、海老名市長からの文書につきましては14ページに添付してございます。

また、5、教育委員会からの申出文書につきましては18ページのとおりとなっております。

6、根拠法令（抜粋）につきましては資料13ページのとおりでございます。後ほどご高覧いただければと思います。

大変雑駁ではございますが、説明は以上でございます。

○伊藤教育長 それでは、ただいまの説明に対して、ご質問等ありましたらお願いいたします。

○武井委員 工期が契約した日から令和8年1月16日までなのですが、基本的に生徒が通学している期間中も工事を行うということなのか、例えば週末だけ工事をするのか、そのあたり。

○教育総務課長 工事の概要でございますが、今回、防水工事ということで、まずは屋上の防水、外壁の防水並びに外壁の落下等も散見されますので、そういった部分の補修と最終的に塗装を行うような工事となっております。こちらの工事は、今年、中新田小学校でも実施したのですが、校舎の外周に足場を組みまして、実際子どもたちが授業をやりながら並行して工事を進めてまいります。ただ、なにぶん授業中の時間帯にはできるだけ音が出る工事は控えていただいて、授業が終了した段階でそういった音を伴うようなものは後に回してもらおうような調整をしながら、学校行事等もできるだけスムーズにいくように学校とも連携を図りながら、調整しながら工事を進めるというもので、基本的に土日だけとかいうところではございません。

○伊藤教育長 スケジュール的にはいつ出来上がりますか。

○教育総務課長 スケジュール的には令和8年1月16日までが工事期間となっておりますので、予定どおり進めばその時期になります。

○伊藤教育長 工事に入るのは7年度……。

○教育総務課長 工事に入るのは、ここで議会の議決をいただきまして、本契約となりましたので、たちまち進むというふうに承知していただければと思います。

○伊藤教育長 4月から始まるということですか。

○教育総務課長 準備なども含めて、基本的には始まっていくというふうに思っていたければと思います。

○伊藤教育長 学校教育活動に支障がないような形で進めるということで、来年の1月にはきれいな有馬中学校が見られるというので、楽しみにしていただければと思います。

ほかにはいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 これについては議会へ提案をして、25日の議会初日にもう既に議決はいただきましたので、それをご承知おきください。

それでは、質問等ないようですので、報告第5号を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第3、報告第5号を承認することに決しました。

○伊藤教育長 次に、日程第4、議案第5号、海老名市学校施設再整備計画に係る今後の方針についてを議題といたします。

説明をお願いします。

○教育部長 それでは、資料19ページをご覧ください。議案第5号、海老名市学校施設再整備計画に係る今後の方針についてご説明申し上げます。

提案理由につきましては、海老名市学校施設再整備計画に係る今後の方針について定めたためでございます。

詳細につきましては、西海参事兼教育総務課長からご説明いたします。

○教育総務課長 それでは、海老名市学校施設再整備計画に係る今後の方針について

(案)の説明をさせていただきます。

初めに、参考資料といたしまして、昨年8月に改定しました学校施設再整備計画のうち、学校施設再整備方針並びに向こう10年間の短期計画の部分の抜粋を添付してごさいますので、比較しながらご覧いただければと思います。

資料21ページの学校施設再整備方針で説明をさせていただきます。こちらが6中学校区ごとにエリアに分けまして、今後40年における児童生徒数の増減への対応などに配慮した適正規模、適正配置の見直しをし、施設の老朽化を踏まえ、将来的に長寿命化を図る施設であったり、施設の新築、また、施設一体型小中一貫校化などを計画したものとなっております。そのうち、向こう10年間の大規模なものにつきましては、海老名・海西エリア、有馬エリア、今泉エリアの整備が挙げられます。本定例会では、短期計画に示された海老名の今後の方向性について方針決定したく、提案するものでございます。

それでは、20ページの議案資料をご覧いただきたいと思います。海老名市学校施設再整備計画に係る今後の方針について(案)でございます。

令和6年8月に改定された海老名市学校施設再整備計画では、老朽化する学校施設的环境及び機能向上を図るため校舎の移転または新築、並びに統廃合を行い、将来的な児童生徒の現状に対応した再整備方針が示されたところである。これを受け短期計画である向こう10年間の計画について、海老名市教育委員会として子どもの教育環境の充実につながる学校施設整備が確実に推進されるよう、今後の方向性について次のとおり方針を定める。

方針1でございます。

海老名中学校の校舎は老朽化が著しく、学校敷地は道路により分断され、さらに校舎敷地の大半が借地であるなど様々な課題を抱える状況にある。そのため、学校施設再整備計画では、海老名中学校の移転新築が再整備方針として示されている。現在、海老名市役所周辺では新たな市街地形成が進んでいるが、まちづくりなどの環境整備が整った段階で海老名中学校を移転する。移転先としては、市街化区域編入候補地である市役所西側地区の新市街地形成に合わせ移転候補地とする。なお、将来の生徒数減少に対応した海西中学校との統合を踏まえた整備とする。

続いて、方針2でございます。

有馬小学校は、将来的に児童数減少が見込まれることから、有馬中学校との施設一体型の小中一貫校として統合を図る。本市初となる有馬小中一貫校は、義務教育学校とし9

年間の学びのカリキュラムにより、より柔軟に児童生徒に寄り添った学習を可能とする学校運営を目指す。

次に、方針3でございます。

今泉小学校及び今泉中学校は、海老名駅西口地区の開発に伴い児童生徒数が増大することから、今後の増加対応には軽量鉄骨造校舎により当面の一時的な対応を図る再整備方針としている。そのため、児童生徒推計に基づく適切な教室数確保に努めるとともに、積極的な学区再編に取り組むこととする。

なお、軽量鉄骨造校舎を活用しながら既存校舎の長寿命化などの整備を併せて実施する。

以上、方針（案）の説明とさせていただきます。

○伊藤教育長 それでは、ただいまの説明について、ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

10年間のものを改めて教育委員会として、再整備計画はもう既に出してあるのですけれども、具体として、教育委員会で方針を定めるということ。方針1が海老名中学校の移転であって、2が有馬小中学校の小中一貫の義務教育学校化、方針3はもう喫緊の課題なのですけれども、今泉小中学校の児童生徒数増に係る対応ということでございます。

○濱田委員 3つの方針それぞれに大変有効な方針であると感じました。特に海老名中学校の話、先ほど出ていますけれども、場所等もあるし、今、市役所周辺に市街化編入候補地があるということであれば、地権者との交渉がありますから、非常に大変かもしれませんが、早めに移転先を見つけて、移転候補地として早め早めに周知して、進めていただけたらよろしいのではないかな。将来的には多分というか、もう間違いなく、このケースでいえば人口も減少していますから、児童生徒数も減ってくると思いますので、さらに海西中学校ですか、それで統廃合という形になろうかと思うのだけれども、これは必然だと思いますので、方針をメインにしてまとめていただいて、やはりそれを柱とした地域あるいは行政内部での交渉を進めていただけたらなと思いますので、よろしく願いします。

○海野委員 方針2で「義務教育学校とし」とありますが、義務教育学校ということが耳慣れないという点もありまして、有馬小中学校の一貫校の説明を詳しく教えていただけたらなと思います。

○伊藤教育長 では、私のほうから。ここにあるように9年間の学びカリキュラムによ

り、より柔軟に児童生徒に寄り添った学習を可能とするということです。例えば小学校と中学校は基本的にはあるのですけれども、9年間、職員が一緒ですので、中学校の職員が小学校に行って、理科とか専門教科の授業は普通にやれて、逆に小学校の先生は中学校で道徳とか、みんなに関わるようなものとか、学級に関わる指導だとか、だから、ひょっとすると、運動会も、要するに小学校1年生から中学校3年生までがみんなで作るようなもの。児童生徒の規模にもよりますけれども、小学部とか中学部で作るのか、それともみんなで作るのか。そうすると、全然違った形の面白さが出てくるかなということで、今まで小学校、中学校と分かれてやっていた教育課程を9年間の教育課程でやることによって、新しい学びができればなと思います。だから、小学校1年生に入ってきたら、中学3年生が面倒を見るみたい。今は小学校6年生だけれども、中学3年生の子どもたちにとってもすごくやりがいがあったりするので、そのような新しい教育の形ができるので、将来的には多分小学、中学、海老名市内全体が統合されて、義務教育学校で小学校1年生から中学校3年生まで、ずっとみんなで学ぶ。その中で学習活動をするというのが……。だけれども、児童生徒数は減だから、変な話、田舎と言ってしまう言葉が悪いけれども、多分地方ではこういう形が、学校が存続するためには必要な1つの形になっております。

ただ、問題なのは校長先生が一人になるので、大変になってしまう。でも、ある意味では、海老名市内でそれができれば、ある意味では本当に課題……。ほかの学校でもこんな形でやればと。今は場所が離れている中で小中一貫教育を進めているのですけれども、まさに教育課程そのものが必要になるので、その効果はまた、新しいものを生むのではないかなということです。だから、私は、有馬小中学校は個人的にも好きですので楽しみにしているところでございます。

柏ヶ谷小中学校も、さっきも再整備計画にありましたけれども、その後の段階では、20年後か何かには柏ヶ谷小中学校が義務教育学校になるような計画にはなっていると思います。

○武井委員 方針3で少し分からないところがあってお聞きするのですけれども、長寿命化の改修をしたときに既存の校舎に入っている生徒たちはどうするのか。それと同時に、多分一緒にプレハブの校舎ができていると思うのですけれども、流れ的には、新しく造ったプレハブの中に既存の生徒が入って、改修工事を終えながら徐々に入替えをしていくのか、そのあたりのご説明をいただきたいと思います。

○伊藤教育長 既存の校舎の改修工事と、増築校舎の関係について説明をお願いします。

○教育総務課長 まず、プレハブ校舎のほうでございますが、小学校につきましては、ここでまた、推計に基づきましてかなり増加が見込まれることが分かりました。ですので、その増加に対応できるプレハブ、軽量鉄骨造の校舎を恐らくグラウンドの敷地の一部を活用して建てていきます。それは、あくまでも既存の校舎プラス増加するであろう児童分のみ込めるプレハブを建てていきます。そのプレハブが建ち終わった後に、既存の校舎もさらにリニューアルを実施したく、可能な範囲で新しくできたプレハブに子どもたちを一時的に移動させて、内部も含めて改修工事ができればと考えてございますので、何回かのサイクルで改修ができればいいなと考えていますが、実施のやり方はそういったイメージでやりたいと思っています。

○伊藤教育長 ピークよりも早めに造って、空いている部分にまず入ってもらってという感じですね。今は本当にいい感じの校舎になりますからね。プレハブといっても、我々のころのプレハブとは違うので。

ほかにはいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 そうしたらないようですので、海老名市学校施設再整備計画に係る今後の方針について(案)でございますが、これを教育委員会の方針とするという議案第5号を採決いたします。この件について原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第4、議案第5号を原案のとおり可決いたします。

○伊藤教育長 続きまして、日程第5、議案第6号及び日程第6、議案第7号は人事に関する案件であります。それぞれ海老名市教育委員会会議規則第18条第1項第1号に該当することから、会議を非公開としたいと思えます。

それでは、会議の非公開について採決を行います。日程第5及び日程第6について、会議を非公開とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第5及び日程第6を非公開といたします。

つきましては、非公開となりますので、傍聴人の方はここで退室となりますので、よろ

しくご対応ください。

(非公開事件開始)

(非公開事件終了)

○伊藤教育長 以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしましたので、教育委員会 3 月定例会を閉会いたします。皆さんどうもありがとうございました。